



—令和5年5月23日（火）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 郡山市立桑野小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～



桑野小学校では、子どもたち自身が目標を決めて考え行動できるように、生き方教育（キャリア教育）を推進し、スタートカリキュラムで育みたい資質・能力を明確にして、1学年スタート時の教育活動を展開しています。スタートカリキュラム作成にあたっては本校の幼保小連携の現状を振り返り、再構築して実践しています。まず、職員間で「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を共有したうえで、学校での活動では、どの姿が育成されているのか意識することで、幼児期からの学びの連続性を持たせています。また、地域住民や近隣の幼児教育施設との交流も積極的に行っています。

これらの取り組みが、子どもたちが安心と自信を持って有意義な学校生活を送ることに結びついていることと思います。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 桑野小学校の発表について

- ・幼保小連携の現状と課題を細かく分析しており、それがきめ細かな指導に繋がっていると感じ、素晴らしい発表でした。
- ・カリキュラムの重要性を再認識しました。「10の姿」を意識したカリキュラムを実施していることや、幼保と小の接続を丁寧に行っていることで児童が安心して学校に通い、さらに一人一人の成長に繋がることを改めて感じました。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・今回の実践からも分かるように、校長先生はじめ学校からの働きかけが、地域や幼保との連携を推進し効果を上げると思います。
- ・幼児期の経験を小学校へ接続し、子どもたちの主体性、自主性を尊重し安心して過ごせるよう幼保小が連携を深めていきたい。

《参加者からのアンケートから》

- ・私は中学生を担任しており、幼保小連携と同じくらい小中間の連携も大切だと感じていたところでしたので、色々学びました。参加して良かったです。（中学校：参加者）
- ・グループ協議では悩みや意見交換ができて、連携の大切さを感じました。幼稚園の最終学年を受け持っているので、今回の協議内容を生かしていきたいと思います。（認定こども園：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。